

帳票詳細要件 生活保護システム

業務	共通・その他	援助方針機能	帳票名称	援助方針記録票		
No.	システム印字項目		必須	オプション	印字編集条件など	留意事項
1	保護開始年月日		○		・和暦で表記する。	
2	ケース番号		○			
3	援助方針設定日		○		・和暦で表記する。	
4	ケース格付		○		・ケース格付を「A」、「B」、「C」、「D」、「E」、「F」から該当するものを選択し、表記する。 ・パラメタ等により初期設定が行える。	
5	世帯主氏名		○			
6	世帯概要	No	○		・帳票の該当欄に上から連番を印字する。 ・世帯の構成に応じて、行数の増減を可能とする。 ・半角カナで印字する。	
7		フリガナ	○			
8		世帯員氏名	○			
9		続柄	○		・該当区分を印字する。	
10		性別	○		・該当区分を印字する。	
11		年齢	○			
12		学校	○		・システムからのフリー入力もしくは定型文を表記する。 ・パラメタ等により初期設定が行える。	
13		学年	○		・該当区分を印字する。	
14		世帯員の概況	○		・システムからのフリー入力もしくは定型文を表記する。 ・定型文を表記する場合は、定型文をもとに編集した内容を表記することも可能とする。 ・入力内容が帳票レイアウトのスペースに収まりきらない場合は、枠の大きさを可変とし、以降の項目を下にずらすことも可能とする。また、横罫が横数枚にまたがることも可能とする。	
15		世帯の概況	○		・システムからのフリー入力もしくは定型文を表記する。 ・定型文を表記する場合は、定型文をもとに編集した内容を表記することも可能とする。 ・入力内容が帳票レイアウトのスペースに収まりきらない場合は、枠の大きさを可変とし、以降の項目を下にずらすことも可能とする。また、横罫が横数枚にまたがることも可能とする。	
16	問題点課題	○		・システムからのフリー入力もしくは定型文を表記する。 ・定型文を表記する場合は、定型文をもとに編集した内容を表記することも可能とする。 ・入力内容が帳票レイアウトのスペースに収まりきらない場合は、枠の大きさを可変とし、以降の項目を下にずらすことも可能とする。また、横罫が横数枚にまたがることも可能とする。		
17	援助方針	No	○		・帳票の該当欄に上から連番を印字する。 ・世帯の構成に応じて、行数の増減を可能とする。 ・半角カナで印字する。	
18		フリガナ	○			
19		世帯員氏名	○			
20	短期援助方針	○		・システムからのフリー入力もしくは定型文を表記する。 ・定型文を表記する場合は、定型文をもとに編集した内容を表記することも可能とする。 ・入力内容が帳票レイアウトのスペースに収まりきらない場合は、枠の大きさを可変とし、以降の項目を下にずらすことも可能とする。また、横罫が横数枚にまたがることも可能とする。		
21	中長期援助方針	○		・システムからのフリー入力もしくは定型文を表記する。 ・定型文を表記する場合は、定型文をもとに編集した内容を表記することも可能とする。 ・入力内容が帳票レイアウトのスペースに収まりきらない場合は、枠の大きさを可変とし、以降の項目を下にずらすことも可能とする。また、横罫が横数枚にまたがることも可能とする。		
22	決裁区分1		○		・決裁区分を印字する。 ・該当する決裁区分は、各自治体において設定可能とする。 ・パラメタ等により初期設定が行える。	
23	決裁区分2		○		・決裁区分を印字する。 ・該当する決裁区分は、各自治体において設定可能とする。 ・パラメタ等により初期設定が行える。	
24	決裁区分3		○		・決裁区分を印字する。 ・該当する決裁区分は、各自治体において設定可能とする。 ・パラメタ等により初期設定が行える。	
25	決裁区分4		○		・決裁区分を印字する。 ・該当する決裁区分は、各自治体において設定可能とする。 ・パラメタ等により初期設定が行える。	
26	決裁用カスタマーバーコード		○		・QRコードまたはバーコードを印字する。	